

製品安全データシート

新規作成 : 1993年12月13日

改訂 : 2011年 6月29日

1. 製品及び会社情報

製品名 : SLM-OA2

製造者情報

会社名 : 三菱製紙株式会社

住所 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目4番2号

担当部門 : 技術環境部

問い合わせ窓口 : I & Dカンパニー

印刷感材営業部 (電話番号 : 03-3213-3743)

奨励用途及び使用上の制限 : シルバーマスター、シルバーデジプレート用給湿液添加剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性 : 生殖毒性 区分1B

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 区分2

(中枢神経、腎臓、心臓、呼吸器)

特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) 区分2

(中枢神経、呼吸器、心臓)

ラベル要素



健康有害性

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 生殖能または胎児への悪影響の恐れ
臓器の障害の恐れ (中枢神経、腎臓、心臓、呼吸器)
長期または反復暴露による臓器障害のおそれ (中枢神経、呼吸器、心臓)

注意書き

- 不浸透性保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣を着用すること
- この製品を使用するときに、飲食や喫煙をしないこと
- 使用前に取扱説明書を入手すること
- 取扱い後はよく手を洗うこと
- 必要に応じて個人用保護具を使用すること
- ミストの吸入をしないこと
- 換気のある所で使用すること
- 味見をしたり、飲んだりしないこと

取扱い後は十分に洗浄すること
誤って目や皮膚に付着した場合、直ちに流水で15分以上洗う。
処理薬品の使用方法に従って正しく使用すること

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
一般名 : 給湿液添加剤
成分及び含有量

	官報公示整理番号	Cas No.	含有量%
アモルファスシリカ *	(1)-548	7631-86-9	10-30
エチレングリコール *	(2)-230	107-21-1	5.0
水	対象外	7732-18-5	>50

*アモルファスシリカ(シリカ) 安衛法57条の2 通知対象物質 施行令第18条
*エチレングリコール 安衛法57条の2 通知対象物質 施行令第18条

4. 応急処置

吸入した場合 : 吸入の可能性は少ないが、もし大量のミストを吸入した場合は、速やかに空気の新鮮な場所に移動してください。速やかに医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合 : 接触すると炎症を起こすことがある。直ちにきれいな流水で洗い流してください。

目に入った場合 : 直ちにきれいな流水で15分以上洗い、炎症が残っているようでしたら医師の診察を受けてください。
洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄してください。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続けてください。

誤飲した場合 : 水でよく口の中を洗浄し、大量の水を飲ませて、直ちに医師の手当を受けてください。意識があっても無理に吐かせないようにしてください。

5. 火災時の措置

消火剤 : 散水、ドライケミカル、炭酸ガス
使ってはならない消火剤 : 特になし
特定の消火方法 : 不燃性ですが、周辺火災の場合には移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移してください。
保護具等 : 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用してください。
風上から消火活動を行ってください。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止してください。保護具（送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護面、安全帽、長袖保護服、保護長靴など）を必ず着用して回収してください。風上で作業してください。多量の場合は、人を安全に避難させてください。

環境に対する注意事項 : ごく少量の場合は、大量の水で洗い流してください。

漏出した液体や洗浄に使用した汚染水が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないよう注意してください。

除去方法 : 砂または不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収してください。回収した液を廃棄する場合は関係法規に従ってください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：目や皮膚に接触すると炎症を引き起こすことがありますので適当な保護具（保護眼鏡、保護手袋）を着用し取扱ってください。

取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、及び身体洗浄を行うための設備を設置してください。休憩場所には、手洗い、洗顔等の設備を設け、取扱い後には手、顔等をよく洗うようにしてください。

局所排気・全体換気：強制換気による換気を行ってください。

注意事項 : 取扱いは十分な換気の下で行ってください。

保管 : キャップを確実に閉めて涼しい場所に置いてください。ただし、凍結させないでください。

子供の手の届くところには置かないでください。

施錠して保管してください。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：局所排気装置等 強制換気による換気を行ってください。

管理濃度 安衛法管理濃度 : 未設定。

許容濃度：日本産業衛生学会

ACGIH/TWA

ACGIH/STEL/C エチレングリコール(蒸気) 100mg/m³

保護具 : 呼吸器

手 保護ゴム手袋

目 保護眼鏡

皮膚及び身体 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体

臭い : 若干あり

沸点 : > 100℃

引火点：引火性なし

燃焼または爆発範囲：データなし

蒸気圧：水と同様

比重(at25℃)：1.1 - 1.2

溶解度：水に可溶

分解温度：データなし

色 : 乳白色

pH (at25℃) : 8.0 - 9.0

融点：< -4℃

自然発火温度：データなし

蒸気密度：データなし

オクタノール/水分分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の手扱い条件下では安定である。

反応性：特になし。

避けるべき条件：高温、低温（結晶析出）、直射日光、高熱

混蝕禁忌物質：特になし

分解による有害性：特になし

1 1. 有害性情報

急性毒性LD50：実測値はないが、成分から推定した値では2000mg/Kg（ラット経口）以上。

・エチレングリコール

LD50 4000-10200mg/Kg（ラット経口）

皮膚腐食性・刺激性：アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れがある。

急性毒性LC50（ミスト）：情報なし。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：情報なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：情報なし

生殖細胞変異原性：情報なし

発がん性：情報なし

生殖毒性：

・エチレングリコール

CICAD 45（2002）の記述からマウスの連続交配試験、ラットの催奇形性試験において、母毒性のない用量で児動物への影響（奇形、骨化遅延、未骨化）がみられている。

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露：

・エチレングリコール

ヒトについて、「誤飲後34日以降に意識障害、痙攣、昏迷状態が見られ、血液科学的検査では尿素窒素、クレアチニン及び尿酸が増加、尿検査で蛋白尿及び血尿がみられ、腎障害が認められている。腎生検で尿管に組織学的変化が見られている。また、肺の軽度なうっ血がみられた。」「急性影響は4段階に分けられる。まず暴露後30分から12時間後に起こる中枢神経系への作用、次に暴露12-36時間後に起こる心肺系への影響、更に第1及び第2段階で死亡（エチレングリコール）を免れた者に見られる腎臓障害、そして中枢神経系への変性である。」（CERIハザードデータ集97-24(1998)）との記載がある。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露：

・エチレングリコール

ヒトについて、「意識消失、眼球振とう」「軽い頭痛と腰痛、上気道の刺激」（環境省リスク評価書3巻(2004)）との記載があり、実験動物については「肺及び心臓に炎症性的変化」（環境省リスク評価書3巻(2004)）との記載がある。

吸引性呼吸器有害性：情報なし

1 2. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生態蓄積性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

水質汚濁防止法（生活環境項目）及び下水道法（下水の排除の制限）に該当しますので、河川、下水等にそのまま排出することはできません。

本製品を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「都道府県条例」に従い、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者に、運搬、処理を委託してください。

汚染容器及び包材：内容物を完全に除去した後に処分してください。

1 4. 輸送上の注意

「取扱い及び保管上の注意」の項の記載による
国連分類及び国連番号：該当しない。

1 5. 適用法令

安衛法：通知対象物質 エチレングリコール、アモルファスシリカ（シリカ）
化管法：非該当（改定化管法によりエチレングリコールを除く）
毒劇法：非該当
危規則：非該当
消防法：非該当

1 6. その他の情報（引用文献等）

独立行政法人 製品評価基盤機構 「化学物質総合情報提供システム（CHRIP）」
「GHS分類対象物質一覧」

本シートの内容は発行時における知見に基づいて作成したものです。作成の目的は製品の安全に関わる情報を提供するものであって、性能・品質を保証するものではありません。記載事項は今後の知見により改訂されることもあります。記載内容の内、含有量・物理的及び化学的性質などの値は保証値ではありません。注意事項は通常の取扱い対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点をご考慮願います。危険・有害性の情報は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。